資料３

## ●第１回赤前地区復興まちづくり検討会

**◆開催概要**

日時：11 月 11 日（金）　18:30～21：00
場所：赤前コミュニティ消防センター　　出席者：検討会メンバー14 名

## まちづくりの方針について出た主な意見

まちづくりの方針については、２班で意見を出し合った結果、大きく以下の４つの方針に意見の集約、共有が図られました。

### 災害に強い安全、安心のまち

#### 災害に強いまち

・高い若しくは２重の防潮堤があればよい　・山を削り、土を盛り上げ高台を確保
・安全安心が地域の住民はもとより周辺の人たちも感じられるまち
・津波防御のため道路を多重防御とし、津軽石川に津波の勢いを誘導する

#### 安全に避難できる道路

・県道や市道のかさ上げによる多重防御　・市道の拡充によるバス路線の整備
・県道、市道から避難道路へのアプローチ　・袋小路の解消　・救援車両も通れる道路
・避難道路の整備拡充　・安全な避難道路網が大切
・盛土で道路を整備してほしい　・県道の代わりに安全なルート確保、嵩上げ
・県道、市道の整備拡充　・現在の市道を拡幅し道路網を整備
・道路は冬の凍結が危険　・安全に逃げられる道路　・拡張や変更も含む道路の整備

### 子どもからお年寄りまで住みやすいまち

・子どもたち、若い世代と高齢者が助け合えるまち
・高齢者も移動しやすいようにバス停を近くに　・子ども達が安全に安心して歩ける通学路
・住宅も商店も赤前小を中心に　・赤前小を中心としたまちづくり
・近所付き合いが楽しくできるまち　・「おはよごぜんす」、「おやすめんせ」の言えるまち
・赤前小が存続するまち　・お年寄りが安心して暮らすまち

### 産業の盛んな活気のあるまち

・企業が進出しやすい環境整備　・赤前に雇用の場をたくさん作ってほしい
・漁港を早期復元整備してほしい　・地域の意欲ある農業者に農地を貸与し農業者の育成
・企業の立地するまち　・学校、企業などを中心としたまちづくり
・産業誘致にも役立つ道路整備

### 山、川、海の自然をいかしたまち

#### 海・河川・水辺の活用

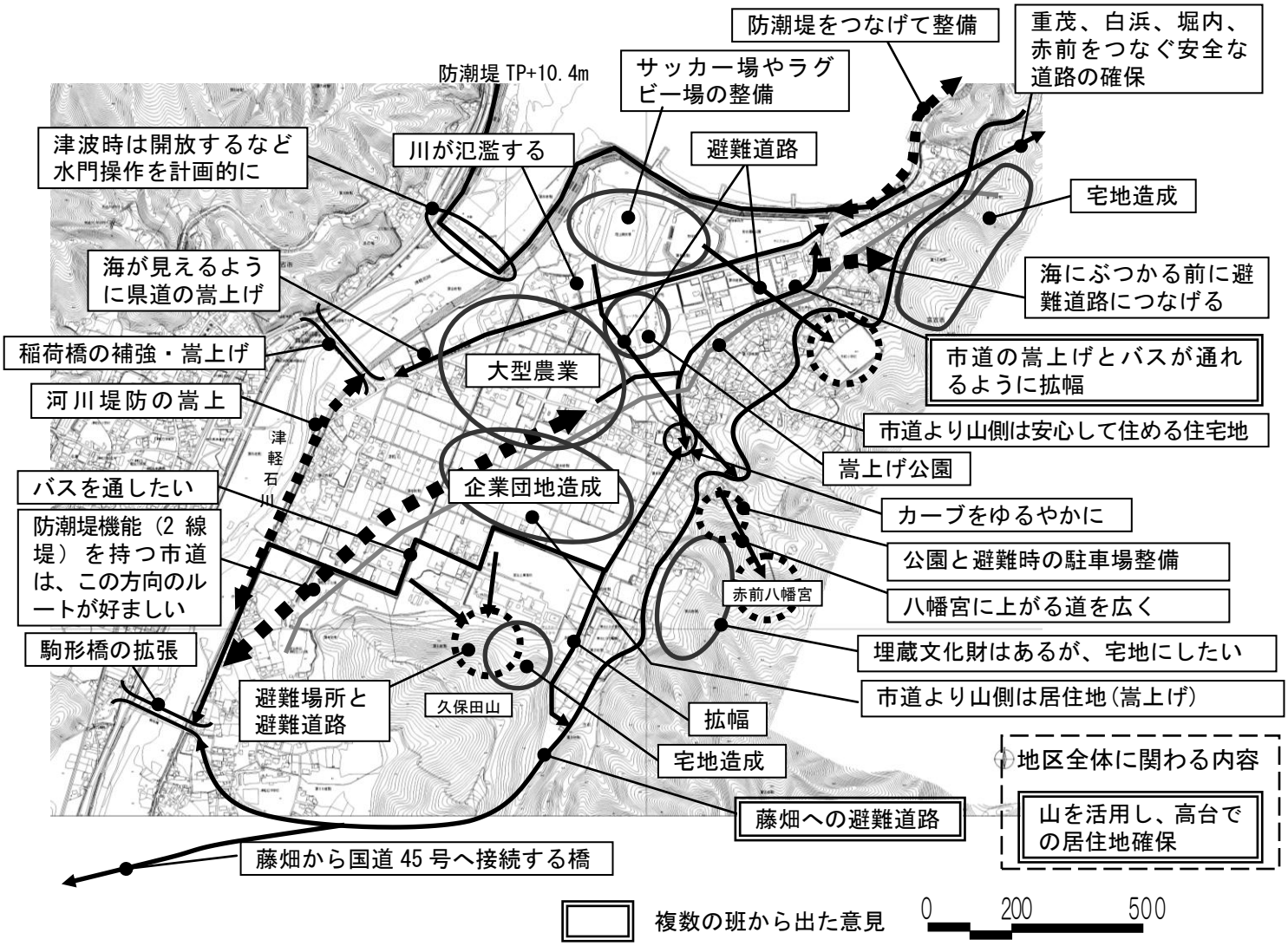
・海が中心に、海を大切にしたい
・河川、海岸線の整備と公園的利用
・湾奥部の干潟を保全、利用

#### 公園や農地など緑の多いまち

・農業が大事　・大型農業
・遊休農地で田植え体験
・運動公園の再利用で市民が憩うまち
・高台にも公園を作ってほしい

## 用地別の土地利用の方針について出た主な意見

用地別の土地利用の方針について、２班で意見を出し合った結果、以下の図に示すような意見が挙げられました。特に、道路を嵩上げし防潮堤機能を持たせることや安全な避難場所・避難ルート、低地部での土地利用の区分、高台での住宅地確保については２班とも意見がでています。




## 今回の検討会で共有できた方針

検討会で確認し、共有できた方針を整理すると以下のようになります。これらの方針をもとに、次回以降の検討で議論を深めていきます。

**◆地区復興まちづくりの方針について**

- 災害に強い安全、安心のまち
- 子どもからお年寄りまで住みやすいまち
- 産業の盛んな活気のあるまち
- 山、川、海の自然をいかしたまち

**◆土地利用の方針について**

- 危険な区域の住宅地は高台での確保を考える。
- 低地部では、農地、工業地、住宅地などを集約、再配置を考える。
- 津軽石川にかかる橋の整備、拡充を考える。
- 防潮堤機能（2 線堤）を持つ道路の整備、山側に重茂から藤畑に抜ける避難道路の整備を考える。
- 既存の市道や県道の拡幅、嵩上げにより、安全でバスが通る便利な道路網を考える。